

先輩職員の声

埼玉県防災航空隊 派遣
高橋 消防司令補(平成17年度採用)



防災航空隊の紹介

埼玉県防災航空隊は、ヘリコプターの機動力を生かし空飛ぶ消防隊として、埼玉県民及び国民の安心安全を確保するため、24時間・365日運航しています。ヘリコプターは3機保有(あらかわ2・あらかわ3・あらかわ4)し、常時2機運用となっています。

任務は、情報収集、捜索・救助、空中消火、救急、広域応援等多岐にわたります。組織編制は、防災航空センター所長及び運航事務を埼玉県職員が就き、機体運航及び整備に関しては本田航空株式会社が担っています。搭乗隊員は隊長以下18名が、県内の各消防本部からの派遣となっています。このように、埼玉県、民間会社、市町村が三位一体となり任務を遂行しています。

仕事の魅力、やりがい

私は、消防学校初任教育入校中に防災航空隊の存在を知り、その活動、姿に憧れを感じ、目標としていました。令和元年度に念願だった防災航空隊へ派遣となりましたが、実際には華やかな事ばかりではなく、訓練の厳しさや活動の難しさから自分の無力さを痛感することもありました。そのため、航空隊として必要な知識や技術を一から学び、努力を重ね、現在では実際の現場で航空隊の一員として救助活動をしています。困難な現場もありますが、要救助者を無事に救出できた時に、この仕事の魅力を強く感じます。

消防士を目指す方へ

消防は、市民の方々へ安心、安全を提供することが仕事です。災害現場では冷静な判断、安全、確実、迅速の活動が求められます。そのためには、使命感と責任感を持って業務に従事し、日々の訓練や専門知識の習得により自分を磨くことがとても大切です。また、市民の支えとなり、一人でも多くの人の助けになりたいという気持ちも必要となります。

このような志を持った方は、ぜひ私達と共に、この仕事に取り組んでいきませんか？当消防局は様々な専門分野で部署や各部隊が構成されています。自分の目標と努力次第で、スキルアップが可能な魅力ある職場です。何事にも挑戦する心・気持ちを持つ方をお待ちしています！



予防課

橋場 消防士長（平成24年度採用）



現在の仕事紹介

私は平成24年度に採用され消防隊として勤務してまいりました。令和2年度から予防課査察調査係に配属となり、査察と火災調査の業務を担当しています。査察とは、市民の皆さんが店舗や飲食店等を安全に利用できるように、消火器や自動火災報知設備などの設備が適切に設置、維持管理されているかの確認や、避難経路が確保されているかなどについて調査し、法令違反に対する指導や警告などを行うことが主な業務です。

火災調査とは、火災の損害と原因を明らかにすることが主な業務であり、同様の火災を防止することを目的としています。

この仕事の魅力

予防課の業務は法令などの専門的な知識の習得が必要であり、災害現場で活躍する消防士に比べ、市民の皆さんの目には触れない地道な業務ですが、「火災を予め防ぐ」ことにより、市民の皆さんが安心できるまちづくりに貢献することができることに、やりがいを感じています。

消防士を目指す方へ

消防士は火を消すだけが仕事ではありません。職務はそれぞれ違いますが、私たちは国民の生命、身体及び財産を守るために働いています。

火災を未然に防ぐことにより多くの命を守ることができます。興味を持ってくれた方は、草加八潮消防局の消防士を目指して下さい。ぜひ一緒に予防課で働きましょう。

消防隊

成田 消防士（令和2年度採用）



消防士を目指したきっかけ

私は、小学生の頃から医療に興味があり、救急救命士になるために大学で学びました。

そして、救急救命士として学んだことを最大限に発揮するには消防しかないと思い、消防士を目指しました。

大学生の時に、実際の現場を経験する実務研修という実習を草加八潮消防局で行い、災害現場で隊員の方が丁寧で正確な活動を行う姿を見て、「私もこんな救急隊員になりたい」という憧れを持ったことをきっかけに、草加八潮消防局を受験しました。

採用試験に向けて努力したこと

私が採用試験に向けて行っていた事は、本番を意識する事です。

試験本番は、どんな人でも緊張するものです。そのため、問題を解く際には実際の試験時間を再現するなど、試験に近い緊張感を体験しておくことで、実際の試験で緊張をしても落ち着いて挑むことが出来たと思います。

消防士を目指す方へ

消防は、男性の多い職場ですが、草加八潮消防組合は女性職員の割合が全国的に見ても高く、消防隊・救急隊だけでなく様々な分野で女性が活躍していますので、ぜひ女性の方にも採用試験を受験して欲しいと思います。

私は、入庁したばかりで経験は浅いですが、現場で訓練の成果を出せた時などはやりがいを感じています。

消防は人命に関わる責任の重い仕事ですが、「消防士になりたい」という熱意を持って採用試験にチャレンジしてみてください。